

5年生の can-doリスト (★の階段)

() 組 なまえ_____

1年間で「ここまで行けたらすごい」を、5つの力ごとに3つの段でならべました。あてはまるところに日づけを書こう。

いまの自分 あてはまるところに、日づけを書こう (ぜんぶ書けなくてよい)

できるように なりたいたいこと	☆☆☆ たすけがあれば	★★★ ひとりで
聞くこと	絵カードがあれば、すきなものや月のことばを、聞いて指させる。	ゆっくり言ってもらえば、道あんないや教室の英語を聞いて、その通りに動ける。
読むこと	声に出して言えるようになったことばを、カードや文字の中から見つけられる。	メニューやはり紙の短い文字を読んで、ほしいものを自分でえらべる。
話すこと [やり取り]	はり紙を見ながらなら、聞かれたことに答えて、同じ質問を相手に返せる。	はり紙を見ないで、あいさつから始めて、質問と答えを二回以上つづけられる。
話すこと [発表]	作ったカードやメモを見ながら、自分の名前とすきなことを二つの文で言える。	絵や写真を見せながら、じゅんびした三つの文を、聞く人を見てさいごまで言える。
書くこと	大文字と小文字を四本線に書き分けて、自分の名前を大文字で書ける。	お手本の文を、ことばとことばの間をあけて、大文字とピリオドまで写せる。

★★★ もう一歩——「じぶんから」やってみたい人へ

聞くこと	三つか四つの文のヒントを聞いて、何の話かと、くわしいことを一つえらべる。
読むこと	友だちが作ったメニューやポスターから、知りたいことを二つ見つけられる。
話すこと [やり取り]	相手の答えを聞いて、用意しておいた質問をもう一つ足し、話をつづけられる。
話すこと [発表]	じゅんびした上で、「なぜそれをえらんだか」の文を足して、四つの文で伝えられる。
書くこと	ことばバンクから自分に合うことばをえらんで、自分のことの文を二つ書ける。

この★について ★は成績ではありません。今の自分をたしかめて、つぎに行きたいところを見つけるための表です。まだのところは、何も書かないでよいです。★3は「もう一歩やってみたい人」のためのもので、全員がとどかなくてよいところです。

5年生の can-doリスト（★の階段）〔先生用〕

5年生（外国語科）の到達目標。★＝支援量の階段、CEFR-Jコード＝言語的難度の目安。到達の記述はそのまま評価規準・所見に使えます。

領域	★	CEFR-J	到達の記述（評価規準・所見に使う言葉）	主に伸びる単元
聞くこと	1	Pre-A1	絵カードなどの視覚的な支援があれば、ゆっくりはっきり話される身近な語句（教科・スポーツ・食べ物・月）を聞き取り、指し示すことができる。	es5-hello / es5-birthday
	2	A1.1	ゆっくりはっきり話されれば、Go straight. / Turn right. や教室英語などの短い簡単な指示を理解し、そのとおりに動いたり地図をたどったりすることができる。	es5-place / es5-classroom
	3	A1.2	3～4文のまとまりのある話（3ヒントクイズ・Small Talk）を聞いて、その要点と、それを支える具体的な情報を一つ、絵や選たく肢で示すことができる。	es5-family / es5-hello
読むこと	1	Pre-A1	音声で十分に慣れ親しんだ語句について、絵カードやはり紙に書かれた文字と結び付けて、その語を見つけることができる。	es5-hello / es5-can
	2	A1.1	絵や写真がついたメニュー、看板など、日常生活で使われる非常に短い簡単な表示を読み、必要な情報を選び取ることができる。	es5-restaurant / es5-place
	3	A1.2	音声で十分に慣れ親しんだ語句だけで書かれた友達の作品（オリジナルメニュー・紹介ポスター）を読み、ねだんや季節、行事など必要な情報を二つ取り出すことができる。	es5-restaurant / es5-japan
話すこと〔やり取り〕	1	A1.1	キーフレーズのはり紙を手がかりに、なじみのある定型表現を用いて質問に答え、同じ質問を相手に返すことができる。	es5-hello / es5-can
	2	A1.2	掲示に頼らず、あいさつから始めて質問と応答を2往復以上続け、Me, too! などの反応を返すことができる。	es5-birthday / es5-restaurant
	3	A1.2	相手の発話を受けて、あらかじめ用意しておいた質問を一つ加え、やり取りを3～4往復続けることができる。	es5-family / es5-hero
話すこと〔発表〕	1	A1.1	カードやメモを手がかりに、基礎的な語句や定型表現を用いて、自分の名前や好きなことなど限られた個人情報をも2文で伝えることができる。	es5-hello / es5-can
	2	A1.2	前もって話すことを準備した上で、実物や絵を提示しながら、基礎的な語句や定型表現を用いて3文で説明することができる。	es5-family / es5-japan
	3	A1.2	準備した上で、内容の説明に加えて「なぜそれを選んだか」を表す1文を自分で加え、4文程度を一貫して話すことができる。理由は because を用いず、He is kind. / It's fun. など既習の文をもう1文続ける形で表す。	es5-hero / es5-japan
書くこと	1	Pre-A1	アルファベットの活字体の大文字・小文字を4線上に書き分け、自分の名前を大文字で書くことができる。	es5-hello / es5-alphabet
	2	Pre-A1	例文を、語と語の間隔、文頭の大文字、文末のピリオドに気を付けて、正しく書き写すことができる。	es5-hello / es5-birthday
	3	A1.1	語彙リストから自分に当てはまる語を選び、例文を参考にして、自分のことを表す文を2文書くことができる（例文なしでの英作文は求めない）。	es5-can / es5-japan

使い方

- ・★は支援量の階段（★1 支援あり／★2 ひとりで／★3 自分から）、CEFR-Jコードは言語的難度の目安です。軸が違うので★とコードは1対1になりません（同じコードが★1と★2に並ぶ領域があります）。コードは★の別名ではありません。
- ・この表は評定表ではなく、評価規準と所見の言葉をそろえるための材料です。各単元のルーブリックa欄は、この記述と同じ言い方にしています。
- ・聞く・読む・書くはパフォーマンステストでは測っていません（16単元とも話すこと中心）。行動観察と作品（かきかたワーク・ポスター・マップ）で見取ります。
- ・★3に届いた児童のための所見文例を、各単元のパフォーマンステストに1本ずつ入れてあります（タグ「発展・★3」）。
- ・児童に配る面には外部試験名も CEFR-J コードも印刷されません。

